

中部科学技術センター顕彰候補者推薦書

平成 年 月 日

(財) 中部科学技術センター

会長 野嶋 孝 殿

推 薦 者

会社名

住 所 〒

役職・氏名

印

推薦する業績名、候補者名

推薦する業績名	
候補者名	

会社概要

資本金	従業員数	年間売上(百万円)	主要製品名(売上比率)

業務の概要(主な事業：箇条書き)

- ・ の設計・製造
- ・ の設計・製造
- ・ のOEM など

企業ホームページAddress：

本件に関する連絡先	役職： 氏名： 電話： F A X： e-mail：
-----------	--

中部科学技術センター顕彰候補

業績名	
-----	--

1 候補者

(ふりがな) 候補者氏名		生年月日	
勤務先		役職	
同上所在地		電話	
最終学歴			
職歴			

注 1) 候補者が複数の場合は、以下のページに代表者以外の候補者分を作成する。

2) 複数企業による推薦の場合は、推薦者は、原則として代表候補者の所属する事業所等の長とする。また、相手企業から推薦内容に関する了解を得ておく。

(ふりがな) 候補者氏名		生年月日	
勤務先		役職	
同上所在地		電話	
最終学歴			
職歴			

(ふりがな) 候補者氏名		生年月日	
勤務先		役職	
同上所在地		電話	
最終学歴			
職歴			

2 業績の概要（400字を目処に作成）

研究開発の背景、既存技術・競合技術の問題点、既存技術・競合技術と比較して開発成果の内容と特徴、成果品がもたらす利益や効果などの優位性について簡潔に記述してください。受賞者発表の際の業績紹介の参考に使用させていただきます。

開発技術と従来技術或いは類似技術の比較について
 他技術との相違点ポイント及び特許等との関連性を明確に（例えば、駆動機構・装置の場合、動力源からワークまでのエネルギー伝達の仕組み 等）記述してください。

異業種企業等との連携・協力等について
 異業種間交流による業績については、異業種企業等との連携・協力等についても記述してください。（従来取引等の無かった異業種企業、あるいは同業他社との共同開発実績を含む）

[以下の記述欄は必要に応じて枠組みを広げて記入ください]

3 当該研究開発に関する生産実績

年度	H 2 0 年度	H 2 1 年度	H 2 2 年度	累計
生産数量（単位）				
生産金額				
年間売上げに占める割合（％）				/
市場占有率（ ）				/
輸出数量（単位）				

（ ） 同種製品の全国年間生産数量に占める当該研究開発による生産数量の割合
 当該製品と同様の目的を持つ製品の中での市場占有率を算定

どのような製品を同種製品と判断され、市場占有率を算出されたかを記述してください。

4 研究開発の背景

従来技術の課題、市場やユーザーニーズの動向等の面から、開発に至った経緯と研究開発の必要性等について記述してください。(ポイントを具体的に)

異業種間交流による業績については、異業種企業、同業他社との連携によるニーズ等の市場調査内容についても記述してください。

5 研究開発の目標

研究開発の着眼点、研究開発の必要性、開発目標について記述してください。
(ポイントを具体的に)

6 研究開発技術の内容と特徴、優位性

1. 研究開発技術の内容と特徴

開発技術の内容、特徴や新規性、競合技術(製品・生産技術)との技術的比較を定量的・具体的に記載してください。特にポイントとなる構造上の違い等についてはポンチ絵等を用いて具体的に記載してください。と比較しての優位性など技術の優秀性についてわかりやすく記述してください。技術的また、優位性を定量的に示す指標がありましたら記述してください。
従来技術と本技術との違いが分かる簡潔な説明図を添付資料に付けてください。

2. 研究開発における課題と克服方法

開発を進める上での技術的課題とその克服のための着眼点・方法(ブレイクスルー)について記述してください。

また、開発を進める上で、協力を得た大学、公的試験研究機関からの技術相談・技術支援等の内容について記述してください。

共同開発等で企業・大学等との連携による成果の場合、連携した企業・大学等それぞれの役割分担についても記述してください。

7 研究開発技術の優位性

開発技術による効果、競合技術（製品・生産技術）との比較について数値等を用いた定量的な方法を用いて記載してください。ユーザーの使いやすさ等の利便性向上技術に関して、定量的な記載が困難な場合は何がどのように向上したかを具体的に記載してください。

異業種間交流での成果については、従来の枠を超えて新たに生ずる対象分野についても記載してください。

8 開発成果の会社への貢献

開発成果（技術・製品）が会社へもたらした効果や企業評価の向上などについて、記述してください。

なお「利益」には経済的利益と非経済的利益（作業安全性の向上等金銭価値に換算できないものを含みます。以下同じ）。

異業種間交流での成果については、従来の枠を超えて新たに加えられた取引先等も記述してください。

9 当該研究開発への候補者の寄与度

当該研究開発において、各候補者がどのような立場、どのような面で役割を担い、研究開発の推進に寄与したかを記述してください。（必要な場合は、研究推進体制図を添付してください）

1 0 社会への波及効果

1 開発成果の産業界への貢献や波及効果	<p>開発成果（技術・製品）の供与・供給が事業者・ユーザーにもたらした利益や貢献、市場への波及効果（市場創出や拡大）や他の技術分野・産業技術への波及効果について記述してください。</p> <p>異業種間交流での成果については、新たな対象分野での利用・応用が可能な状況も記述してください。</p>
2 開発成果の社会生活への貢献度	<p>開発成果（技術・製品）がもたらした社会利益（環境問題など社会負担軽減への寄与など）や、国民生活・福祉の向上への寄与、消費者利益などについて記述して下さい。</p> <p>異業種間交流での成果については、新たな対象分野での利用・応用が可能な状況も記述してください。</p>
3 開発成果の将来性	<p>開発成果（技術・製品）がもたらす将来の可能性や今後の技術の発展性について記述してください。</p>

候補者推薦書記入要領

1.2 当該研究開発に関する論文等

執筆者氏名	論文名	発表先	発表年月日

1.3 当該研究開発に関する受賞歴

表彰年月日	表彰の名称	表彰主体	受賞者

1.4 推薦支援者に関する事項

機関名	
住所	〒
役職・氏名	印
コーディネータ 活動内容	候補賞者発掘の経緯 推薦書の作成支援範囲

1.5 添付資料リスト

推薦書に添付された資料リストを作成ください。

資料No.	資料名称

以上